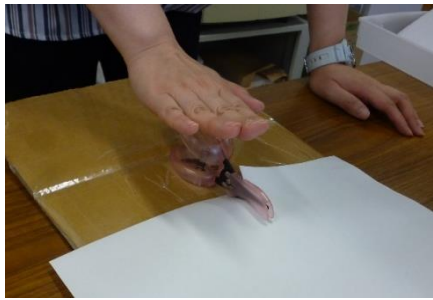
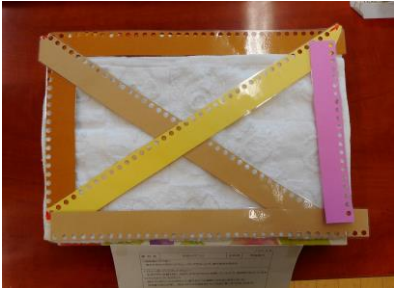


教材紹介（作業学習 編）

1	色分け紙コップ重ね 	色による分別、つかみ方や重ね方等、力を加減した手指の操作性をねらいとした教材です。紙コップの揺れや感触、大きさや軽さなどを感じながら、楽しく自発的に取り組みます。 紙コップの色や大きさを変えたり、プラスチックコップにしたりなど、多様に応用できる教材です。土台の3本の棒を活用し、リング通しや輪投げ、数量による仕分け等にも活用できます。
2	カスタネットばさみ台 	通常のはさみの使用が難しい児童生徒でも、手の平でたたくことで紙を切れるよう、カスタネットばさみに台を付けました。 たたくと音がするので楽しく、切れる喜びを味わいながら作業に取り組むことができます。 紙の材質や大きさ、支援方法を考えながら、自立活動での指導につながります。
3	ボールペンの組み立て 	ボールペンの組み立てで使用する教材です。 親指、人差し指、中指の3本の指を使う練習にもなり、鉛筆やスプーン、箸などを正しく持つことにもつながります。
4	牛乳パック再利用作業の治具 	牛乳パックをちぎってパルプをミキサーに掛け、はがきなどを作る作業過程で活用する治具です。ちぎったパルプが大きすぎるとミキサーで粉碎できないため、一定の大きさ以下にする必要があります。そこで、マス目の中にちぎったパルプを置いていき、はみ出した場合は、さらに小さくちぎります。 一目で出来高が分かり、また一対一対応の学習にもつながります。
5	雑巾縫い出来高表  	作業学習において、雑巾を一枚縫い上げるとに、雑巾のイラストカードを一枚、表に貼っていきます。 作業学習の振り返りとして、自分の頑張りを可視化でき、自信と意欲の向上につながります。

6	「いいねカード」の評価表 	作業学習の終わりに、生徒一人一人に「いいねカード」を2、3枚渡します。カードには、色別にどんな点が良かったかについて書いてあります。カードを表に貼っていき、色別になっていることで、自分の良い面や努力が必要な面が可視化でき、分かりやすくなります。 〈いいねカードの種類〉 ①たくさんできたね ②挨拶、返事がいいね ③姿勢がいいね ④集中してできたね ⑤準備、片付けができたね ⑥報告がいいね ⑦正確にできたね
7	空き缶つぶし数早見表 	・作業学習での意欲を高めるため、出来高を黒板に掲示。 ・数が認識できない生徒でも沢山つぶしたことがわかるように、空き缶の写真カードで表示。 (1枚の写真カードで空き缶10個の単位)
8	台ふきん縫い お助け印つけ 	・生徒が布巾を縫う時に、斜めに印をつけるのに苦戦していたので、短時間できれいに印をつけられるような補助具を制作。 ・対角線の両方の角に、お助け印付けの端をあわせて斜めに真っすぐ印をつける。

